学研都市記者クラブ、京都経済記者クラブ、京都府政記者クラブ
奈良県県政･経済記者クラブ、大阪経済記者クラブ　（14：00 同時資料配付）

報道資料

けいはんな
学研都市

けいはんな R&D イノベーションフォーラム 2023～けいはんな学研都市先端シーズフォーラム～（一般公開 WEB セミナー）の開催について

令和５年１１月２７日
（公財）関西文化学術研究都市推進機構
イノベーション推進室

関西文化学術研究都市推進機構では、新事業新産業創出を図るため、「けいはんなR&Dイノベーションコンソーシアム」を設置し、オープンイノベーションを基軸として、未来社会やマーケットの想定に基づく産学官連携を推進しているところです。

8回目となる今回のフォーラムでは、当コンソーシアムの具体的な活動状況・成果をご紹介するとともに、「ChatGPTで未来はどうなる～けいはんな学研都市での生成AI活用の可能性～」をテーマとして、その分野に精通するお二人を講師としてお招きし、最新の動向や今後の展望等について、ご講演いただきます。

なお、前年度に続き、「けいはんな学研都市先端シーズフォーラム」との合同開催といたしておりますが、一般の方もご参加いただけますので、多くの皆さまからのお申込みをお待ちしております。

記

１　日　時　　令和５年１２月１２日（火）　１４：００～１７：１０
２　開催等　　Zoom Webinar によるオンライン講演
３　内　容
（１）　コンソーシアム活動状況について
関西文化学術研究都市推進機構
コンソーシアム会員企業事例紹介
〇自動運転車両についての取組紹介
株式会社アウトソーシングテクノロジー インテグレーション事業本部
プロフェッショナルサービス部　DX モビリティ課 担当課長　松山 貴史（まつやま たかし）氏
〇「スマートけいはんなプロジェクト」の避難誘導実証について
NTT コミュニケーションズ株式会社 ビジネスソリューション本部
スマートワールドビジネス部 スマートシティ推進室 主査　石間 裕基（いしま ゆうき）氏
（２）　特別講演
〇対話システムにおける生成 AI の活用
国立大学法人 名古屋大学大学院情報学研究科 知能システム学専攻
フィールド知能情報学 教授　東中 竜一郎（ひがしなか りゅういちろう）氏
〇機械学習：経験から学ぶ人工知能とその可能性
国立大学法人 京都大学大学院情報学研究科 情報学専攻 教授　鹿島 久嗣（かしま ひさし）氏

４　参加申込　https://www.kri.or.jp/contact/rdic_forum2023.html

【お問合せ】
（公財）関西文化学術研究都市推進機構（イノベーション推進室）　藤川
ＴＥＬ：0774-95-5047（直）　Ｅメール：rdmm@kri.or.jp

＜参 考＞

■「けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム」

2016 年 5 月発足の RDMM 支援センターが事務局を務めるコンソーシアム組織で、新事業・新産業創出に向けたワーキング活動や共同研究開発プロジェクト等に取り組んでいる。
会員数 127（内企業 101)、会長；塩崎一裕奈良先端科学技術大学院大学学長（令和 5 年 10 月末現在）

https://www.kri.or.jp/conso/

■「Club けいはんな」

2016 年 11 月設立の住民によるサポーター組織で、アンケート調査、ワークショップ（アイデアや有効性の検討等)、実証実験への参画等に取り組み、生活者目線での意見等を研究開発等に活用している。会員数 3,453 名（令和 5 年 10 月末現在）

https://www.kri.or.jp/rdmm/club/

■「けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム」

2018 年 3 月から、我が国初の自動運転等の新技術や次世代交通システムの確立に向けた、企業乗合型・住民参加型公道走行実証実験プラットフォーム（K-PEP）の提供を開始。これまで 22 社が 34 回(令和 5 年 11 月 20 日現在)実証実験を実施し、未来の交通システム実現に向けた検討の加速を支援。

https://www.kri.or.jp/rdmm/tokku/

けいはんな R&D イノベーションフォーラム 2023

けいはんな学研都市先端シーズフォーラムとの合同開催

ChatGPTで未来はどうなる

～けいはんな学研都市での生成AI活用の可能性～

2023年12月12日（火） 一般公開 WEBセミナー（開始14:00）

M　けいはんな学研都市での新技術の開発とサービスの創出に、生成AIをどのように活用できるかについて詳しく教えてください。

急速に普及するChatGPTに代表される生成系AI（Generative AI）においては、自動文章生成、音楽生成、画像生成、自動翻訳、自動要約等の様々な場面での活用が進んでいます。さらなる活用にあたっては、データの収集や整理、膨大な計算量の処理などが必要となりますが、その特性を適切に理解し、人の得意分野と組み合わせることで、製品開発や製造プロセスの改善、顧客のニーズに合わせたマーケティング戦略の立案など、様々な分野で応用が期待されるところです。

そこで、今回のセミナーでは生成系AIの最新の動向や今後の展望等に触れ、それにより、けいはんな学研都市で目指す新技術の開発やサービスの創出に、どのように活用できるかを考えます。

14:00　開会挨拶　関西文化学術研究都市推進機構
14:10　コンソーシアム活動状況について　関西文化学術研究都市推進機構
14:30　会員企業事例紹介
・モビリティ：　株式会社アウトソーシングテクノロジー　インテグレーション事業本部
プロフェッショナルサービス部　DXモビリティ課 担当課長　松山貴史 氏
「自動運転車両についての取組紹介」
・防災・避難誘導：　NTTコミュニケーションズ株式会社　ビジネスソリューション本部
スマートワールドビジネス部　スマートシティ推進室主査　石間裕基 氏
「『スマートけいはんなプロジェクト』の避難誘導実証について」
15:00　特別講演１
名古屋大学　大学院情報学研究科　知能システム学専攻
フィールド知能情報学　教授　東中竜一郎 氏
「対話システムにおける生成AIの活用」
16:10　特別講演２
京都大学　大学院情報学研究科　情報学専攻
教授　鹿島久嗣 氏
「機械学習： 経験から学ぶ人工知能とその可能性」
17:10　閉会御礼

東中竜一郎　氏

鹿島久嗣　氏

Welcome to Forum 2023 Willkommen beim Forum 2023 Benvenuto al Forum 2023 Forum 2023 Welcome bij Forum 2023 Welcome mail Forum 2023

参加のお申し込みはQRコードまたはURLから
https://www.kri.or.jp/contact/rdic_forum2023.html
公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
イノベーション推進室
けいはんな学研都市
RDMM 支援センター

主催：公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構
共催：公益社団法人関西経済連合会
後援：国立国会図書館，関西広域連合，京都府，大阪府，奈良県，公益財団法人国際高等研究所，けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

Clubけいはんなサポートサービス

生活者目線を研究開発に活かし
新規事業創出に欠かせない
「マーケットの本質」探索をサポートします。

Keihanna Science City

Clubけいはんなサポートサービスは生活者目線を新ビジネス創出に組み込むサービスです。

インターネットアンケート

Clubけいはんな会員の全員もしくは抽出した一部よりWeb調査で質問に答えて頂く

ワークショップ

企業と Clubけいはんな会員が合同で検討テーマに対する問題や解決方法を討議しながら新産業・新事業のアイデアを創出する

実証実験

Clubけいはんな会員に社会実証実験のモニターとなって頂き、実用化に向けた意見を頂く

プロトタイプ評価

Clubけいはんな会員数名のメンバーで構成し、議論しながら企業が作成した試作品の評価を行う

2022年度活動

Web調査

・日常生活の中での健康との関わりについて／・京都スマートシティエキスポ2022

ワークショップ

けいはんなデジタルツイン住民ワークショップ

実証実験

避難誘導アプリを使ったフィールド実証（避難訓練）

お問い合わせは

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
イノベーション推進室
RDMM 支援センター

〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台1丁目7
けいはんなプラザラボ棟3F
Email:rdmm@kri.or.jp
URL:www.kri.or.jp/rdmm/

K-PeP

ご利用料金

- 基本分担金　10万円 / 年
- 設備設置・変更（5万円～）
- 住民周知（5万円～）
- 各種許認可（5万円～）
- Clubけいはんな利用（5万円～）
- その他

優れた道路環境と立地施設の協力

住民協力による実証・評価が可能

＼あなたの声を研究開発に活かそう！／
Club けいはんな

施設の共同利用で研究開発コスト低減

警察・行政の支援を得て素早い対応が可能

各社が乗りあう実証実験内容例

オープンで誰でも利用でき，自社に必要な研究・開発を自由に行えるプラットフォーム

けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム
(Keihanna Public road experimental Platform)
K-PeP